

飯島 孝良 専任講師

研 究 業 績

2022年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（単）	『語られ続ける一休像—戦後思想史からみる禅文化の諸相』、ペリかん社	2021.7
著書（共）	『別冊太陽 一休～虚と実に生きる～』、平凡社（共著者）、頁12-13・頁100-105・頁150-155	2015.10
著書（共）	『近代の仏教思想と日本主義』、法蔵館（共著者）、頁347-377	2020.9
論文（単）	「鈴木大拙の禅思想史観を再考する視座：一九三〇年代から四〇年代の記述を中心に」、『東京大学宗教学年報』32、頁117-135	2015.3
論文（単）	「戦後日本における中世禅文化論と一休の「像」：芳賀幸四郎を中心に」、『日仏東洋学会通信』39、頁1-24	2016.3
論文（単）	「西田哲学における〈統一〉概念とボードレールの影響関係」、『東京大学宗教学年報』33、頁85-99	2016.3
論文（単）	「唐木順三の一休論における「伝統」と「近代」」、『現代と親鸞』35、頁36-78	2017.6
論文（単）	「一休「像」の戦後史—日本禅文化論の語る「伝統」と「近代」—」、東京大学大学院人文社会系研究科博士論文、全317頁	2018.3
論文（単）	「市川白弦における「即」の論理—その批判的継承と一休の「像」—」、『宗教研究』391、頁53-77	2018.6
論文（単）	「鈴木大拙は日本における禅籍受容をどう考えていたのか—『禅思想史研究』を中心に—」、『近代仏教』26、頁75-99	2019.5
論文（単）	「大拙における禅思想史観と「日本」の位置—「業繋苦」と「靈覚」への問いとして」、『国際禅研究』6、頁196-232	2020.11
論文（単）	「大拙における「靈覚」：「矛盾的自己」をめぐる問いとして」、『西田哲学会年報』18（シンポジウム「靈性」）、頁18-33	2021.8
論文（単）	「鈴木大拙」、『国際禅研究』8、頁189-199	2022.1
論文（単）	「近代の居士禅における禅籍の位置—前田利鎌の「修養」を中心に—」、『禅学研究』100、頁413-440	2022.3
翻訳（単）	ディディエ・ダヴァン（飯島孝良訳）、「書評 小川隆著『神	2011.12

	会：敦煌文献と初期の禅宗史』『語録のことば：唐代の禅』 『臨濟録：禅の語録のことばと思想』、『駒澤大学禅研究所年報』23、頁276-288【原文フランス語】	
その他（単）	「或る夏の「帰郷」」、『アンジャリ』34、親鸞仏教センター、頁32	2017.12
その他（単）	書評「安藤礼二『大拙』 水野友晴『「世界的自覚」と「東洋」：西田幾多郎と鈴木大拙』」、『近代仏教』27、頁80-86	2020.5
その他（単）	書評「大竹晋『「悟り体験」を読む—大乘仏教で覚醒した人々』」、『近代仏教』28、頁166-170	2021.5
その他（単）	書評「山田奨治、ジョン・グリーン編『鈴木大拙：禅を超えて』」、『宗教研究』95(3)、頁684-690	2021.12
その他（共）	日本仏教学会編『仏教事典』（「一休」担当）、丸善出版（共著者）、頁188-189	2021.1
その他（共）	「対談一休問答」、伊野孝行『となりの一休さん』、春陽堂書店、頁64-85・頁130-149	2021.3
口頭発表（単）	「鈴木大拙の禅思想史観をたずねて～『禅思想史研究第一—盤珪禅—』を手がかりに」、東北大学大学院日本思想史研究会例会（於東北大学）	2013.12
口頭発表（単）	「20世紀が創った一休像～一休とわれわれのあいだにある多面体」、フランス国立極東学院シンポジウム「一休とは何か—この妖怪に再び取り組む」（於東京日仏会館）	2015.11
口頭発表（単）	「メディアとしての一休「像」の創作とその意義」、「仏教と社会」学会第24回学術大会テーマセッションB（於上越教育大学）	2016.6
口頭発表（単）	「「瞎驢辺滅却」と一休—『狂雲集』におけるその精神を再考する—」、シンポジウム「一休と禅のこころ」（於花園大学）	2017.7
口頭発表（単）	「一休さんとわたし」、一休さんシンポジウム（於酬恩庵一休寺）	2017.7
口頭発表（単）	「市川白弦の一休論における「即」の論理—大拙禅学の受容として—」、日本宗教学会第76回学術大会（於東京大学）	2017.9
口頭発表（単）	“Problematic issues on the image of Zen culture and Ikkyū Sōjun : the making in 20th-century Japan.” The fifth UT / UC Graduate Student Japan Studies Workshop (University of Chicago, USA.)	2018.3
口頭発表（単）	「近代の居士禅における『臨濟録』受容と反響—前田利鎌の場合—」、日本宗教学会第78回学術大会（於帝京科学大学）	2019.9

記入欄が足りない場合は、適宜行を追加してください。
